

まちごとまきこむEXPOマガジン

万博世代

EXPO GENERATION

夢洲芸術祭かも？特集

万博ってもう

PUBLIC
ART MAP
付き

TAKE FREE

vol.

02

2025.6

日本語 / English

海外パビリオンインタビュー
モナコ&ドイツ
Monaco&Germany

宮田 裕章 Hiroaki Miyata

毎月、この時代を生きる人々を「万博世代」と名づけ、活動やそこへかける情熱を届ける「万博世代Interview」。今回は、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーであり、シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」をプロデュースした、宮田裕章さんへお話を聞きました。

宮田さん、万博におけるアートの役割ってなんですか？

「どんな未来を描くのか？」という問い自体が、パビリオンを手がける上で核心となっていました

—— 大阪・関西万博への関わりは？

実は、大阪府の万博誘致委員会が立ち上がった時からのメンバーです。「一つのパビリオンのプロデューサー」いうより、万博全体の思想的な枠組みの部分である「いのち輝く未来社会とは何か？」という問いの設計に関わってきました。

—— シグネチャーパビリオン「Better Co-Being」をプロデュースする上で、大切にしてきたことを教えてください。

万博はいわゆる祝祭イベントではなく、世界中が集って未来を考える重要な機会だと思っています。今の時代は超大国ですら未来の輪郭がつかめない。そんな中「どんな未来を描くのか？」という問い自体が、パビリオンを手がける上で核心となっていました。かつての万博は、ある意味で植民地政策や技術覇権を象徴する場だった歴史もあり、「見せ物」だったと感じています。もちろん、それらすべてを否定するわけではありませんが、先行きが見えにくい現代は、自分たちはこうしたいという未来の形を持ちよる機会が万博なのだと思います。その時に必要なのが、「違いの中でつながる」こと。そのために我々が選んだのがアートです。実際、私たちのプロジェクトで

は、ホワイトキューブ的な展示空間を避けています。たとえば虹のように、「いつ現れるかわからないもの」を見に行く。そういう不確定性をも含んだ体験を重視しています。

生態系と一体化し、風や雨、空を感じながら、共に未来を見つめる装置

—— 万博におけるアートの役割って、为什么呢？

アートは問いを立てることと親和性が高く、問いそのものを立ち上げる装置になると考えています。例えば「屋根も壁もない万博中央の構造」は、「なんでこんな形になってるの？」と問いを投げかける存在。それは万博という舞台の中で、「何が本質なのか」を問いているとも言えるでしょう。生態系と一体化し、風や雨、空を感じながら、共に未来を見つめる装置。それが建築であり、響命の場であると思うんです。

—— 万博の会場では、戦争や対立を超えて人々が笑顔で交流している姿が印象的です。この「ウェルビーイング」を万博の外にも広げるには、どうすればよいでしょうか？

今回、会場の構造そのものが「空と一緒に見る」ように設計されているんですね。例えば〈大屋根リング〉はまさにそう。足元にある現実には目を向けていると、どうしても折り合えない問題が多くあります。国際間の摩擦や、歴史的

な背景など、簡単に解決できないものばかり。でも、未来と一緒に見てみようという視点があると、目線が上がって、共に歩もうとする力が生まれる。それが希望であり、ワクワクすることの源泉です。

通常の国際交渉の場では、短期的な利害調整に終始してしまいがちですが、例え部分的にでも、この会場内のように「共有できる未来」や「共鳴できる感覚」があれば、次の現実をつくるための一歩になるのではないかと思います。

万博は「共に問いを立てる場所」

—— 最後に宮田さんにとって、万博とは何でしょうか？

来場者一人ひとりが問いを持ち帰り、自分なりの未来像を思い描くこと。言葉を発し、誰かとつながることで始まることもある。そうしたプロセスこそが、本当の意味で未来につながっていくのだと思います。パビリオンでの体験は、そのための入口に過ぎません。そこから先の道をどう歩むかは、一人ひとりに委ねられています。この万博が、そうやって「共に問いを立てる場所」になれば、本当に意義深いものになると感じています。

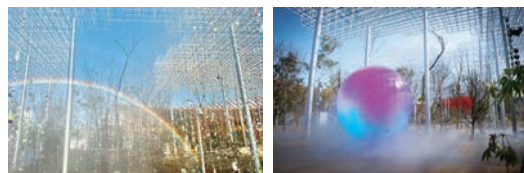
宮田 裕章

慶應義塾大学医学部教授。科学を駆使し社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行う。いのちを響き合わせ多様な社会を創り、その世界を体験する中で一人ひとりが輝く“共鳴する社会”を目指す。

宮田裕章さんが手がけるパビリオン

シグネチャーパビリオン Better Co-Being

様々な地域で大切にされてきた考えや表現との間に共通点を見出し、異なるコミュニティ同士を共鳴させる考え方を「Better Co-Being」をテーマにしたパビリオン。「人と人との共鳴」「人と世界の共鳴」「人と未来の共鳴」という3つのシーケンスを体験した来場者間のデータを集約し、未来のイメージを五感で感じる映像体験を創出する。



万博ってもう夢洲芸術祭かも？特集

国内外の作家によるパブリックアートが一堂に介する大阪・関西万博。こんなにも多くの作品に出会えるなんて、まるで芸術祭の域では!? そのおもしろさを、会場のアートに関わる方々に聞いてみた！



会場デザインプロデューサー補佐
アートコーディネイター
寺浦 薫 (てらうら・かおる)
株式会社E-DESIGN アート&コミュニケーション部ディレクター。大阪・関西万博では、会場デザインプロデューサー補佐/アートコーディネイターとして、プロデューサーやアーティストとともにパブリックアートの実施を牽引した立役者。都市空間とアートをつなぐ役割を軸に、各地で多彩なプロジェクトを手がけている。



南條史生 (なんじょう・ふみお)
美術評論家・キュレーター。森美術館特別顧問、アーツ前橋特別館長を務める。

国際博覧会に訪れる世界中からの来場者に、日本のクリエイティビティと現代アートの今を伝えるため、パブリックアートプロジェクトを実施しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマをふまえ選ばれた作品は、生命や自然、宇宙の広がりや尊さを映し出し、リングの象徴性とも響き合います。万博会場でのアートとの出会いを、私たちも嬉しく思います。

会場のアート作品を、ちょっぴり解説！

パブリックアート

南條史生さんキュレーションの彫刻や、Study：大阪関西国際芸術祭参加作品など合計22の作品が会場内で鑑賞できる。



静けさの森 アートプロジェクト

舞台は、大阪府内の公園から、間伐されるべき樹木など約1,500本を移植した「静けさの森」。大阪・関西万博の7つの主要テーマに沿って、プロデューサーの宮田裕章さんとアートディレクターの長谷川祐子さんがキュレーションした。



EXPO WORLDS クリエイティブディレクター 引地 耕太

Co-MYAKU'25は、3年前に僕が制作した万博デザインシステムの「個のいのち」を表すID(こみゃく)というエレメントをモチーフにジャンルを超えた多様なアーティストに万博会場の様々な場所に描いてもらうアートプロジェクトです。こみゃくとアーティストのDNAが掛け合わせ生まれた「新たないのち」をぜひ楽しんでください。



Co-MYAKU'25

EXPOWORLDSが手がける、25組のアーティストたちとともに、多様な「いのち」を会場に宿すアートプロジェクト。「命輝く」というテーマのもと、作家それぞれが自由にこみゃくを描いた。

静けさの森

- 16 The Hidden Plant Community ステファノ・マンクージ and PNAT 宮田裕章・長谷川祐子
- 17 Conviviality トマス・サラセノ 宮田裕章・長谷川祐子
- 18 Infinite Garden - The Joy of diversity レアンドロ・エルリッヒ 宮田裕章・長谷川祐子
- 19 Idiom, La Dérason ビエール・ユイク 宮田裕章・長谷川祐子
- 20 Cloud Piece オノ・ヨーコ 宮田裕章・長谷川祐子

静けさの森ゾーン

- 21 森の道・青い森 (Forest Path - The Blue Forest) 田嶋飛鳥 (株式会社ヘラルボニー) Study：大阪関西国際芸術祭
- 22 水心 (Home Sweet Home) ミヤケマイ Study：大阪関西国際芸術祭

光の広場

- 45 Prayer Vessel 奈良祐希 南條史生
- 46 ゆきかう Hideki Inaba Co-MYAKU'25

調和の広場

- 47 anima harmonizer ハシグチリタロウ Study：大阪関西国際芸術祭
- 48 浪漫、ここにあり 前田豆コ Co-MYAKU'25

大地の広場

- 49 HIWADROME: type ark.spec2 檜皮一彦 Study：大阪関西国際芸術祭
- 50 大地の息吹 ~Hikariの輪~ Hikariのファンタジア~ emma Co-MYAKU'25

進歩の広場

- 51 DIVING to sky water 中島麦 Study：大阪関西国際芸術祭
- 52 細胞と水 はくいしろう Co-MYAKU'25

コネクティングゾーン

- 8 WORMHOLE 国松希根太 南條史生
- 9 future suit オートモアイ Co-MYAKU'25
- 10 つながる脈動 KAMI Co-MYAKU'25

エンパワーリングゾーン

- 11 People 14. ジュリアン・オビー 南條史生
- 12 Forest of Civilizations [文明の森] Subfossil Oak s.r.o. その他
- 13 rett Sayaka Miyauchi Co-MYAKU'25
- 14 ルミナス 杉野キース Co-MYAKU'25
- 15 共生 conix Co-MYAKU'25

東ゲートゾーン

- 1 Snow-Deer 名和晃平 南條史生
- 2 Bloom Paradise. Flower of Hope ジュン・T・ライ 南條史生
- 3 Cycloid III 森万里子 Study：大阪関西国際芸術祭
- 4 WORLD EXPO 2025 COOK Study：大阪関西国際芸術祭
- 5 オオカミベンチ 鴻池朋子 その他
- 6 いのちへの MASAGON Co-MYAKU'25
- 7 EXPER CASPER Co-MYAKU'25

西ゲートゾーン

- 23 Hard Boiled Daydream (Sculpture/Spook/Osaka) 金氏徹平 Study：大阪関西国際芸術祭
- 24 希望の系譜 (Lineage of Hope) BAKIBAKI Study：大阪関西国際芸術祭
- 25 ポップ☆コンミyak ぬQ Co-MYAKU'25
- 26 惑星 水江未来 Co-MYAKU'25
- 27 OBJECT # 14 simo Co-MYAKU'25
- 28 ネオ万葉 横山裕一 Co-MYAKU'25
- 29 桃太郎 ムネアツシ Co-MYAKU'25

セービングゾーン

- 30 INTER-WORLD/Cocooner: Apparent motion of celestial bodies 奥中草人 Study：大阪関西国際芸術祭
- 31 脈々とワクワク 原田あき Co-MYAKU'25
- 32 エキスボーズ Masanori Ushiki Co-MYAKU'25
- 33 これから 田中かえ Co-MYAKU'25

フューチャーライフゾーン

- 34 Love Stone Project EXPO 2025 富長敦也 Study：大阪関西国際芸術祭
- 35 海の記憶：喜界島 サンゴの方舟 (Memory of the Sea: Kikajima - The Coral Ark) Sceneプロジェクト (地球研) Study：大阪関西国際芸術祭
- 36 私が消える場所ー現実の境界に映るもの (Where I Vanish - Reflections at the Edge of Reality) DONECY Study：大阪関西国際芸術祭
- 37 潮流 中西保裕 その他
- 38 The Woman with Terrestrial Malady "LEM" REMA その他

その他

- 39 WORLDS みんな Co-MYAKU'25 ※会場内3箇所に設置

大屋根リング

- 40 すしネーター 西島大介 Co-MYAKU'25
- 41 表裏一体 カグチタクヤ Co-MYAKU'25

空の広場

- 42 Sync Zennyann Co-MYAKU'25

東エントランス広場

- 43 Come Come 大河紀 Co-MYAKU'25
- 44 ポップアウト Summer House Co-MYAKU'25



EXPO WORLDs プランナー しまだあやさんと、 “夢洲芸術祭”に 行ってみた！

オープンデザインプロジェクト「EXPO WORLDs」でプランナーを務め、アーティストとともに夢洲会場を作ってきた一人でもある、しまだあやさん。今回はそんなしまださんと夢洲を歩き、アート作品とそこから見えるワクワクを、楽しんできました。

EXPO WORLDs って？

大阪・関西万博の会場に多様な“いのち”の彩りを息づかせ、にぎわい創出や、人々の参加と共創を促すオープンデザインプロジェクト。ヴィジュアルやサウンド体験を通して万博会場のすみずみに「いのち」を吹き込んでいく。

しまだあや

エッセイをはじめとした作家活動を中心に、プランナーやMCなど活動は多岐に渡る。自宅の94%を街に開放したり、他者の家に自室の一部を移植したりと、いろんな暮らし方を実践中。「私にとって万博は、あそびばかな？」。

教えて、寺浦さん！

石川県出身の陶芸家・建築家の奈良さんが、地元企業とともに能登地震復興を願い、「祈る手」と「地球」を象った作品を制作しました。

Prayer Vessel 奈良祐希
● 光の広場

「最近SNS上で、この作品に描かれるこみゃくたちにセリフをつける投稿が多数！デザインシステムとして生まれた模様が、鑑賞者によって命が吹き込まれている流れが、すごい。」

あなただったら、
どんなセリフを？

手招きしているようなこみゃくがいたり、追いかけてくるようなこみゃくがいたり。

こみゃくに、一気に親近感が芽生えちゃう！

ゆきかう Hideki Inaba
● 光の広場

子どもたちに大人気！

「作品に座って子どもたちが記念写真を撮る光景が、微笑ましいな〜。一つの作品に2人が座れるんですが、生き物の形をしているので、知らない人同士が居合わせても自然と和やかな空気に。」



オオカミベンチ 鴻池朋子
● 東ゲートゾーン

教えて、寺浦さん！

国際的に活躍する彫刻家・名和晃平さんは、鹿をモチーフにした作品でも著名です。万博で展示の白い神鹿は、古来神の使いとされ、気候変動の兆しを感じ取り静かに未来を見つめているのかもしれません。

Snow-Deer 名和晃平
● 東ゲートゾーン

約150人が3日間で塗り上げた、

“みんな”の作品！



WORLDs みんな
● 東ゲートゾーン

参加した母は、ここでエキスポマニアの方と友達に！

みんなが
つながる作品！

「参加者の共通点は、1970年の万博に関わっていたり家族がバビリオン関係者だったり、万博に縁があること。下は0歳上は80代ぐらいの方が思い思いの色を塗りました。」

教えて、寺浦さん！

台湾の現代アーティスト ジュン・T・ライさんは、蓮の花の姿で生命の輝きと再生、そして多文化の共生を象徴しています。万博のテーマにも響き合う作品ですね。



Bloom Paradise. Flower of Hope ジュン・T・ライ
● 東ゲートゾーン



Infinite Garden - The Joy of diversity
レアンドロ・エルリッヒ
● 静けさの森

教えて、寺浦さん！

視覚のトリックで知られる現代アーティスト、レアンドロ・エルリッヒの作品は、鏡に映る空や森に包まれ、自然と一体になるような感覚を、大人から子どもまで楽しめますね。

「中に入ると、張り巡らされた鏡の中に自分が次々に現れて、私が私を見ているような哲学的な感覚に陥ってしまう！中には気候や文化の異なる4つの庭園が作られていて、作品がまるで1つの地球を表しているよう。」

INTER-WORLD/Cocooner:
Apparent motion of celestial bodies
奥中卓人
● セービングゾーン

「ウオーターベッドのようにやわらか〜い作品内では、全員寝転がるところからスタート。大人の大人たちを童心に返してくれる装置みたいな作品です。まだまだ、中に入ると気づいている人は少ない模様…穴場！」

お客さんをこの作品へアテンドしたら、

普段は硬い感じの人ほど、わー！きゃー！と楽しんでいた！(笑)

「複雑な気持ちにも寄り添ってくれるような作風が大好き。いろんな声があった万博だけど「ここで体験したワクワクをつなごう」と言われていたような。さまざまな境遇の国が集まるコンモズの壁に描かれたことも、いい！」

実は最初、女の子の眉毛を描き忘れていた！

なんてエピソードも(笑)

脈々とワクワク 原田ちあき
● セービングゾーン

万博×アートの 化学反応の行方は!?

「車の車輪部分にカーブミラーをつけたことで、女子高生たちから撮影スポットとして大人気に。作品意図とは違う親しまれ方だけれど、異なる背景の人が自分なりにアートを楽しむ姿が似合う。それも、万博の醍醐味のように思います。」



HIWADROME: type_ark_spec2 檜皮一彦
● 大地の広場

夕暮れに、
静けさの森へ
飛んでいく
2羽の姿を発見。

もしかしたら、
この作品へ！?

生命の可能性に
ワクワク！

Conviviality トマス・サラセーノ
● 静けさの森

「人工の島である夢洲に、人間以外の命も集えるようにという思いを感じます。巣箱の中に、鳥が来ているかも？と想像するのは楽しい！道端で見かける植物が植えられていて、日常とつながりも感じられる森。」

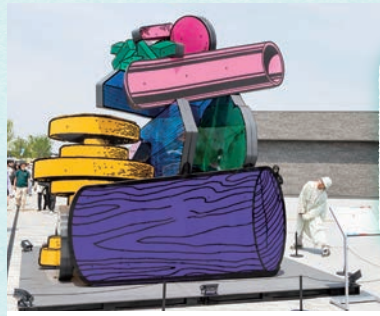
勝手に、閉幕後を

楽しみにしています

「樹脂を用いた作品を手がけ、普段は鑑賞者が持ち帰り、身近な物に貼る行為までも作品過程とする、はくいきしろいさん。この作品は最後どうなるんだろう!? 片面のみの予定だった作品箇所ですが、椀飯振る舞い(?)で、両面に！」

教えて、寺浦さん！

京都を拠点とする彫刻家・金氏徹平さんは、コミックなど身近なものから着想を得て、新たな物語を力強い作品として形にしています。



Hard Boiled Daydream (Sculpture/Spook/Osaka) 金氏徹平
● 西ゲートゾーン

「最近来場者の中で、記念写真スポットになってきたこちら。こないだも4人家族全員でポーズをとる姿を発見。撮影待ちで並ぶ人たちが交互に撮り合う光景もいいなあ。制作時は想像していなかったけれど、気づけば名所の一つになっていた！」

工事施工者さんが急遽、作品のために塗料が塗りやすく細い電気管を選んでくれた！

私にとっては作家さんと施工者さんの
合作だー！



エキスポーズ Masanori Ushiki
● セービングゾーン



Monaco モナコ



案内人

Interviewee

2025年大阪・関西万博
モナコパビリオン副政府代表
**クリスティーナ・
ジョルジェヴィッチ**

ドバイ万博も経験。大阪に長期滞在し
「大阪はモナコに似た心地よさ」と語る。

Deputy Commissioner General
of the Monaco Pavilion at Expo 2025 Osaka, Kansai
Kristina Djordjevic
A veteran of Expo Dubai, she has been staying
long-term in Osaka, saying, "Osaka has a comfort-
ing atmosphere similar to Monaco."



▼鮮やかな色合いで描かれた海洋生物たちに囲まれる「Take Care of Our Oceans (海を守る)」ゾーン
Dive even deeper in the "Take Care of Our Oceans" zone, where dome-shaped ceilings come alive with dazzling digital oceans, immersing you in the vibrant life beneath the sea.

パビリオンについてもっと教えて！
Tell us more about the pavilion!

実は会場前のQRコードを読み込むと、アバターをつかってバーチャル上でモナコ散策ができます。また、モナコ側にも、パビリオン内を体感できるQRコードが。パビリオンは2国の世界をつなぐプラットフォームなんです。

Scan the QR code in front of the venue, and you can create your avatar to explore Monaco virtually! There's also a QR code on the Monaco side that lets you experience the pavilion from afar. This pavilion truly serves as a platform connecting two countries across the world.



ワインセラーの楽しみ方は？
How can we enjoy the wine cellar?

モンテカルロの名門、オテル・ド・パリのワインセラー 150周年を記念し、特別なテイスティング空間が登場。大屋根リングを望む展望テラスで飲む、マスターソムリエによる贅沢な一杯は格別！

A special tasting space has been created to celebrate the 150th anniversary of the prestigious Hôtel de Paris wine cellar in Monte Carlo. Savor a luxurious glass selected by a master sommelier on the scenic terrace overlooking the Grand Roof Ring — pure bliss!

モナコを表すキーワードは？
What keywords represent Monaco?

「**遺**産」や「革新」だと考えます。地中海に位置した自然環境、そして世代が受け継いできた国の空気感。これこそがモナコの遺産の一つ。そこへ観光やアクティビティが共生し、常に「遺産の革新」を続けているのが私たちだと思います。

I would say "heritage" and "innovation." The natural environment shaped by the Mediterranean and the atmosphere passed down through generations are part of Monaco's heritage. By blending tourism and activities into this legacy, we are constantly creating a renewed form of heritage.



▲庭園には、モナコから海を渡ってきたオリーブの大木も。
An olive tree, from Monaco's shores.

©Alexandre Reigner



Germany ドイツ



ドイツ館 広報部長
ヤナ・ゾル

ドイツ西部のケルン出身。ビールとハイキングが大好き。ビールはもちろん200mlのケルシュビール。パビリオンの仕事で忙しい中でも、城崎温泉や大阪城公園でのお花見など日本を楽しんでいる。

Head of Communications, Germany Pavilion
Jana Soll
Originally from Cologne in western Germany, Jana loves beer and hiking. Her drink of choice is, of course, a 200ml Kölsch. Despite her busy schedule working at the Pavilion, she finds time to enjoy Japan—whether it's visiting Kinosaki Onsen or cherry blossom viewing in Osaka Castle Park.

Interviewee

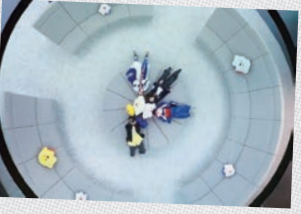


案内人

パビリオンについてもっと教えて！
Tell us more about the pavilion!

ガイド役を務めるおしゃべりサーキュラーが大活躍。音声ガイドを聞いたり、ゲームをしたり、隠れサーキュラーがいたり。ちなみにサーキュラー同士を近づけると楽しいことが起こるので、お友達と試してみてくださいね。

Circular, your chatty guide, will lead the way! Listen to audio guides, play games, and look for hidden Circular mascots. A fun tip: when two Circulars are brought close together, something special happens — try it with your friends!



▲ゆっくりと回転(循環!)するソファに座ってリラックス。画面にはみんなが作ったオリジナルサーキュラーが登場することも。
Take a moment to relax on a slowly rotating (circulating!) sofa. You might even spot original Circular characters created by visitors appearing on the screen.

気になるレストランのメニューは？
What's on the menu at the restaurant?

ドイツビールやペッファポットハスト(牛肉の煮込み料理)、カレーブルストなど、伝統的なものからモダンなものまでドイツ名物を用意しました。ラードラー(ビールとレモネードのミックス)もぜひ味わってください。

We're serving a variety of German specialties — from traditional to modern — including German beer, Pfefferpotthast (a peppery beef stew), and Currywurst. Be sure to try a Radler too — it's a refreshing mix of beer and lemonade.

ケルンはどんなところ？
What's Cologne like?

ケルンは特別な街で、軽くて小さなグラスで出されるケルシュビールが有名です。雰囲気は大阪にも似ていますね。ケルンの人は、笑いと音楽が好きでとても明るくオープンな性格なんです。

Cologne is a unique city, famous for its Kölsch beer served in small, light 200ml glasses. The vibe is actually quite similar to Osaka—people in Cologne love laughter, music, and are cheerful and open-hearted.



▲取材チームとドイツチームで記念撮影。サーキュラーちゃんも一緒に！
A commemorative photo with the interview team, the German Pavilion team — and Circular-chan, of course!

言ってみよう！
世界の乾杯
Say it out loud!
Cheers Around the World

ドイツ編 - Germany Edition

「Prost (プロスト)」

「ドイツ「ナショナルデー」6月20日(金)！
National Day of Germany on June 20 Fri.!

循環経済を楽しく体感する「わ！」体験
かわいいサーキュラーとめぐる未来

「わ！ドイツ」をタイトルに掲げるドイツパビリオンには、日本の「kawaii文化」にヒントを得たキャラクターのサーキュラーちゃんが登場。「わ！」をキーワードにした取り組みへと誘ってくれる。

「循環経済の『環』に、自然と技術の調和、感嘆の声である『わ！』の3つの『わ』を意味しています」とヤナさん。「ドイツには16州あり、それぞれがサーキュラープロジェクトに注力しています。パビリオンでは各州の代表的な事例を知ることができるんです。また、自治体だけでなく企業も積極的にサーキュラー製品を手掛けているのがドイツ。犬の毛からつくられたコートや、寄付された古着を再利用した洋服、キノコの菌からつくられたレザー素材など、多様なアイデアが詰まった製品をぜひ見てみてください」

未来の都市の姿を見せてくれるという「ドリームマシーン」は、手をセンサーの上に置くと、その人の「願い」を読み取って理想の都市像を見せてくれる。人によってさまざまな都市像は、あなたが本当に大切にしているものに気づかせてくれるかも？豊富なアイデアが魅せるサーキュラーエコノミーの未来。私たちは未来をよく変えられる！そんな希望を感じるひと時へ旅立とう。

An Interactive "Wa!" Experience: Exploring the Future with Cute Circular – Discover the Joy of the Circular Economy –

At the Germany Pavilion, titled "Wa! Germany," visitors are greeted by Circular, a mascot inspired by Japan's kawaii culture. Circular guides you through the pavilion's message, all centered on the concept of "Wa!"
"The word 'Wa!' reflects three meanings," explains Jana. "The 'wa' for circularity, the 'wa' for harmony between nature and technology, and the 'wal' of wonder and surprise." Germany consists of 16 federal states, each actively working on circular economy projects. "At our pavilion, you can learn about innovative examples from each state. And it's not just public institutions—companies across Germany are also developing circular products," she adds. From a coat made of dog hair, to clothing recycled from donated garments, to a type of leather created from mushroom mycelium, the pavilion is filled with fascinating ideas that give new life to unexpected materials.

A highlight of the exhibit is the "Dream Machine," which reads your "wish" when you place your hand over the sensor and visualizes your ideal city of the future. The result varies depending on the person—but the experience may reveal what truly matters to you. The Germany Pavilion is a space filled with creativity and hope—where visitors are invited to explore the future of the circular economy and feel empowered to shape a better world.

©German Expo Pavilion / Hotaka Matsumura - German Pavilion

言ってみよう！
世界の乾杯
Say it out loud!
Cheers Around the World

モナコ編 - Monaco Edition

「Santé (サンテ)」 モナコの共通語はフランス語！

「モナコ「ナショナルデー」6月28日(土)！
National Day of Monaco on June 28 Sat.!

まちのパビリオン

大阪の街中で開催されるイベントや活動を「まちのパビリオン」として紹介。
夢洲だけでなく、キタやミナミをはじめとした各所で何かが起きている！

EVENT

2025/5/28 Wed. - 6/24 Tue.

**Osaka
Art & Design 2025**
開催中！

会場 大阪市内各所



大阪で過去最大級のアートとデザインの祭典。多彩な表現とクリエイティビティに出会えます。日常がアートでときめく街歩きは格別！

詳細はこちら！



pickup!

2025/7/6 Sun.

関大万博フェスタ ～巡縁祭～

会場 関西大学千里山キャンパス内

万博をつくるのは、関大だ！
関大万博部によるワクワク体験企画をはじめ、企業や自治体などと連携し、独自の万博空間を創出するお祭り！関大万博オリジナルグッズが必ず当たる「スタンプラリーガチャ」企画もあり。

詳細はこちら！



関大万博フェスタ



COLUMN

Since 1970. 万博の影に竹田あり

人生一度は万博だ。

Vol.1

「万博少年」

文 / 竹田徹 元「EXPOST」編集人

1970年当時、小学校中学年～中学生で、大阪万博に熱中し、万博から一生を左右するほどの影響を受けたという人が少なからずいる。今、60代後半になった僕たちの同世代だ。小室哲哉さんは11歳のとき、大阪万博で富田勲の音楽を聴き、それが音楽家を目指すきっかけになったという。iPS細胞の山中伸弥さんも万博を訪れた経験が科学への興味につながったと話している。中には万博に行けなかった恨みが人気漫画『20世紀少年』を描かせたという浦沢直樹さんの

ような人もいる。皆さんの足元にも及ばないが、僕がマスコミの世界にあれば、新聞記者になったのも間違いなく万博の影響だと思う。大阪・関西万博も一人でも多くの小・中学生(そして高校生、大学生にも)に見てもらいたいと僕が考えているのは、こうした自分たちの経験があるからだ。かつての「万博少年」は55年ぶりの万博をどう見たのか、これから、このコラムでお伝えしたい。



大阪の夜をおもしろくする100人と
出会うプロジェクト

**OSAKA
YORUMON**

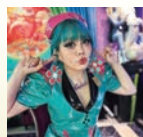
大阪よるもん図鑑

アプリ「大阪よるもん図鑑」では、「OSAKA YORUMON」を続々と更新中！



万博をきっかけに集まる国内外の人々と、大阪の街の人々をつなげる場「夜のパビリオン」。今日はこちらをチェック！

今月のOSAKA YORUMON



心斎橋駅から徒歩2分
BAR「FARPLANE PARCO店」
Pechicoさん

ディープカルチャーが融合したバーは、扉を開けるとまさに禁断の世界。ゴシックやフェティッシュの世界に精通するPechicoさんに誘われながら、未知なる酒場体験にどっぷり浸ろう！



What's EXPO SAKABA?

EXPO酒場本店とは？

万博期間中、世界と日本が遇替わりで集う、キタとミナミの拠点酒場。飲食や音楽で万博気分を盛り上げます！

A global bar for Expo-goers.
Food, fun, and new faces await!



[Instagram]
@expo_sakaba

スケジュール Schedule

キタ KITA (NORTH) 場所 ルクア大阪 B2F LUCUA OSAKA B2F (5PM-11PM)

- 6/14 Sat. - 6/20 Fri. ウガンダフェア in Osaka UGANDA FAIR in Osaka
- 6/21 Sat. 北欧館ミッドサマー企画(仮) Nordic Midsummer Event (TBC)

ミナミ MINAMI (SOUTH) 場所 心斎橋PARCO B2F SHINSAIBASHI PARCO B2F (5PM-11PM)

- 6/21 Sat. POILAND NIGHT

主要9駅 **駅画像配信**



駅の混雑がわかる、おでかけに大活躍！

駅のカメラで混雑状況をキャッチ！ピクトグラムでわかりやすく表示。

ダウンロードは
こちらから



混雑？
ゆったり？



Osaka Metro 公式アプリ イーメトロ



編集後記 文/笹貫淳子

「万博のパブリックアートがすごいね」から始まったアート特集。アートは対話のきっかけになる力があります。夢洲には現代美術家の作品がたくさん。今号を片手に夢洲でアート散策を楽しんでもらえたら嬉しいです！

万博世代を応援しています



協賛：真生印刷株式会社、新生紙パルプ商事株式会社
協力：サンケイ総合印刷株式会社、大阪まちごと万博共創プラットフォーム



万博世代 vol.2 2025年6月13日発行

発行 一般社団法人 demoexpo
〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-12-11 愛晃ビル 4F Email: info@demoexpo.jp

デザイン：楠川真由子 (Neki inc.) 編集・執筆：小島知世
撮影：成田舞 (Neki inc.) 万博世代編集部：笹貫淳子、山根シボル
翻訳：宮外真理子、笹貫淳子

【配架場所】

- ・EXPO酒場キタ本店
- ・大阪市立中央図書館
- ・EXPO酒場ミナミ本店
- ・大阪中之島美術館
- ・大阪府立中之島図書館
- ・その他 大阪府下公共施設
- ・Osaka Metro(梅田、なんば、天王寺など主要駅20か所)

配架先
募集中！

●本誌掲載のデータは2025年6月9日現在のものです。 ●本誌掲載の情報は予告なしに変更になる場合があります。 ●本誌記載の記事、写真、イラスト、デザインの無断転載を禁じます。

